

デンソー山岳部 Bパーティ 2010 年夏山合宿報告書

山域 北アルプス 裏銀座コース縦走

(烏帽子岳、野口五郎岳、水晶岳、鷲羽岳、三俣蓮華岳、双六岳、槍ヶ岳)

日程 2010 年 8 月 6 日～8 月 10 日(予備日 1 日)

メンバー CL・会計：岸上 薫 SL・食料：吉田 明和

装備：杉本 孝 気象・地形・記録：津田 廣一



西鎌尾根からの槍ヶ岳

8 月 7 日(土) 曇り時々晴れ

4:00 起床 5:35 七倉山荘 6:10 高瀬ダム 7:05 一本 8:05 一本 9:00 一本 10:00 一本 10:25 烏帽子小屋 11:00 烏帽子小屋発 11:35 烏帽子岳山頂 12:05 一本 12:55 烏帽子小屋(テン場)

6:10 に出発地点である高瀬ダムに到着する。このダムは、岩を積み上げて造ったダムとして日本一で、発電量は黒部ダム(35KW)の 3 倍の発電量だそう。そんな素晴らしいダムをあとに、一同出発する。登山口を通過し、延々と上り坂を登っていく。途中、何組ものグループを追い抜き、快調に進む。4 時間ほど歩くと、霧のような雰囲気になって、汗だくの我々にとってはとても涼しく快適であった。10:25、烏帽子小屋に到着した。ここでテントを張り空身になって、烏帽子岳山頂を目指す。山頂直下までくると、急な岩場かつ鎖場となっており、怖い思いをしながら慎重に登った。山頂は残念ながら曇りで景色は全く見えなかった。それでも、合宿最初の山頂に登れたことで、うれしい気持ちが沸いた。(記 吉田)



8月8日(日)曇り後晴れ

3:30 起床 4:45 烏帽子小屋(テン場)発 6:15 一本(三ツ岳を超えた付近) 7:43 野口五郎岳山頂 8:50 一本(2833 ピーク付近) 10:17 水晶小屋 11:00 水晶岳山頂 11:30 水晶小屋 12:00 一本 13:05 鷲羽岳山頂 13:54 三俣山荘(テン場)

3:30 起床、4:45 烏帽子小屋テン場出発で、まずは野口五郎岳を目指す。5:02 頃、三ツ岳付近で御来光を拝む。西に真っ赤に染まった赤牛岳が眩しかった。今日もいい天気になりそうだ。



7:43 野口五郎岳に到達。上空はガスっていて景色が良くなく残念である。肌寒かったので、先を急ぐ。10:17 水晶小屋に到着。ここで一本取り、ザックをデポし、水晶岳を目指す事に。45 分ぐらいで登頂。間

近に祖父岳と、鷲羽岳がよく見える。再度水晶小屋に戻り、一本取り鷲羽に向かう。13:05 鷲羽岳に到達。晴れ渡っていて、景色がいい。鷲羽池をバックに、遥か後方に槍ヶ岳を入れ写真を撮ったり、黒部五郎岳もカッコ良く素晴らしい。時間があれば、今後ぜひ行きたい山になってしまった。



もうワンピッチぐらいで、今日のテン場だから頑張ろうと言い聞かせ出発する。13:54 三俣山荘テン場に到着。今日は、3 日間の中で一番時間が掛かると思っていたが、そこそこな時間であった。天候も、



曇ったり晴れたり、丁度良かったのかもしれない。しかし今日は、やけに咳が出るし、喉も痛い。咳止めの漢方薬を、津田さんから貰い、夕食後に飲んで、明日の回復を誓った。(記:杉本)

8月9日(月)晴れのち曇り

3:00 起床 4:30 テン場(三俣山荘)発 5:20 三俣蓮華岳山頂 6:30 双六岳山頂 7:25 双六小屋 8:20 縦沢岳 8:50 西鎌尾根途中1本 9:55 西鎌尾根途中1本 10:55 千丈乗越 11:45 岩カゲ1本 12:15 肩の小屋(テン場) 12:50 テン場発 13:35 槍ヶ岳山頂 14:15 テン場

目覚めると夜間の雨も止んでいる。今日は雨か?と覚悟はしていたが、やはり降らない方がいい。手際良く食事をし、出発の準備。薄明かりの中、4時半に出発。

空も登るにつれ、曇りから晴んぽっていく。“アレ、右目が何か?変。”右目が腫れぼったく見えづらい。少し、気にしながらの登りが続く。1ピッチで三俣蓮華岳山頂へ。昨日、越えてきた水晶や鷲羽が、これから向かう槍ヶ岳がくっきりと見える。素晴らしいパノラマだ!頂上の景色を10分程楽しみ、記念写真を撮って双六へ向かう。右目が気になり、杉本君へ訊ねてみると、「右目の上の脛が腫れてるよ。」“どうも虫にやられた様だ!”2回程、アップダウンを繰り返し、双六の山頂へ。300名山にも入っていないと言うが、素晴らしい山だ。ここでも360度の眺望を楽しむ。笠から登ってきたという女性から、岸上君と杉本君が熱心に笠ヶ岳の情報を聞き込んでいる。双



六小屋では大休止（20 分）し、行動食をしっかりと食べてパワーアップ。水がない槍の肩の小屋まで水をポッカする事にする。西鎌尾根の登りに入るも天気も良く、時々、風がさぁ～と抜けて気持ちいい。縦沢岳も休憩する事なく通過し、1hきっちり歩いて一本。ずっと見えている槍が、徐々に大きくなっていく。アップダウンを繰り返して、槍がくっきりと見える所で、更に一本。杉本君が風邪のせいかな？体調が悪いと言いつつ、しつこく頑張っている。他メンバーは快調そうだ。千丈乗越に着いて1本。もう少しだ。急登を一步、又一步とゆっくりと登っていくが、傾斜が急で、さすがにハア～ハア～と息も乱れ、全身から汗も噴き出してくる。杉本君が辛そうである。たまたま、落石の心配がなさそうな大きな岩カゲで1本。先程、休憩中に追い抜いた静岡の高校生パーティが、我々を追い抜いていく。若い彼らでも力強い者とフラフラの者がいる。少々、長めの休憩をし、気を取り直して歩き出す。少々、喘ぎ出した頃 15 分もすると肩の小屋へ着いてしまった。A 隊



の芦田君が待っていてくれて再会の握手を交わすも、同時に「その眼、どうしたんですか？」。早速に、テントを設営し、槍の頂上を目指そうとした時に、A 隊のメンバーが降りてきた。握手を交わして再会を喜ぶが、皆が皆、私の眼の事を言う。完全にお岩さん状態に腫れあがっていた様だ。鎖、梯子の箇所での大渋滞で時間をロスするも、13:35 に槍ヶ岳山頂へ。残念ながら、ガスって何も見えず。4 人で記念写真だけを撮



って、早々に下山した。テノ場については、合流後の大宴会を楽しみ、夕食後には、隣のテントの人とも、満点の星空を見ながらの 2 次会を楽しんでは、就寝。眼はひどかったが、最高の 1 日であった。感謝、感謝！（記：津田）

8 月 10 日（火）快晴のち雨のち曇り

3:20 起床 5:30 槍ヶ岳山荘発 6:20 一本（水場） 7:30 一本（大曲） 8:45（二の俣） 9:45 一本（横尾） 10:50 一本（徳沢） 11:50 一本（明神） 12:45 上高地バスターミナル着 13:20 バスターミナル発（タクシー） 13:45 駐車場（温泉）着 15:25 駐車場（温泉）発 19:45 刈谷着



朝 3 時 30 分起床予定だったが、表銀座隊が 3 時起きだったこともあり、10 分早めに起床することにした。少し天気を心配していたが、星空を見たところ問題なさそうだ。早速、朝食の準備をして食べるも、レトルトのスパゲティソースがやけに辛くて、味がいまいち。今回の合宿で使用した他のレトルトの味はそこそこだったので、少し残念。ご来光を見て、全員の集合写真を撮ってからのスタートになったため、若干スタートが遅れた。「下山前に槍ヶ岳に登りたい」と言うメンバーもいたが、午後から天気がくずれる事も考えて、時間の都合で下山を開始する。表銀座隊を先頭に、総勢 12 名で下りていった。他のパーティも同時に下りており、少し渋滞していた。吉川さんが適度なペースで、1 時間毎に一本を取りながら、槍沢まではハイスピードで高度を下げてい



く。そこからは、傾斜も少なく、談笑をしながら横尾に辿り着いた。ここまでくれば、後はまさにハイキングコース、少々道のりは長かったが、ゴールに早く到着したいためか、みんなのペースがぐっとあがった。途中、避暑地をデートや散歩している方たちとすれ違う時に、汗臭い自分が少し場違いの感じがした。最後に大粒の雨が降ってきたため急ぎ足でバスターミナルに入った。タクシーの予約時間に間があるためキャンセルし、客待ちのタクシーで駐車場へと向かった。回送してある車にザックを積み、着替えと温泉グッズを持ち、汗を流した。（記：岸上）



所見 (総括)**<計画・行動> (CL 岸上)**

- ・裏銀座のルートは行程が長く、全員が無事に目的地に到着できるか心配していたが、メンバーの事前トレーニングの成果と天候にも恵まれた事もあり、トラブル無く合宿が終えられ、大変良かった。
- ・行動時間についても、サブリーダーの吉田君がしっかり引っ張ってくれたため、ほぼ予定通りとすることが出来て良かった。
- ・事前に沼崎さんと下調べを実施し、回送サービスを上手に利用して、上高地からスムーズに帰路につけた事も良かった。
- ・GPSの精度はやはり高く、持っているほとんどルートを誤ることはないと感じた。

<装備> (担当 杉本)

今回、裏銀座B隊は、総勢4人なので、テントは5人用エスパーを持っていったが、丁度良い大きさだった。やはり、テント収容人数より1人分位少ないほうが、荷物の事を考えたり、身動きを考慮すると

ベストかな。と思われる。また、バーナーは大2個、予備小1個としたが、大1個はまったく使わなかった事もあり、3泊4日なら、大2個で十分な事も分った。あとは特に、気になったところは無く、装備としては、心配点は無かったと思われる。

<食糧> (担当 吉田)

- ・岸上リーダーの発案で、行動食として毎日おにぎりを作り携行した。これは一同好評であった。
- ・もちにハヤシライスのルーをかけた一品は、絶品であった。次は、パスタとハヤシライスのルーの組み合わせを試したいという意見があった。
- ・疲れを癒す飲み物として、今回は蜂蜜がコンデンスミルクよりも人気があった。
- ・やまなシュラン、今夏の評価は星 2つ!!

<気象・地形・記録> (担当 津田)

気象：

初日は、ラジオを聴くのを忘れてしまい、入山前の大矢予報官の予想と観天望気から2日目を1日目と同様の天気と予想。2日目はラジオに聞き入るが、宴会の声に邪魔されて部分的にしか、聞き取れなかった。東北に停滞前線があるも、日本の東にある高気圧が居座り、日本全体が高気圧圏内にある事、台風は発生しているものの遠く影響なしと判断し、3日目も晴れと予想。4日目は下山のみであり、Aパーティとも合流している為、3日目のラジオは聞かずに宴会にはまってしまった。概ね、予想通りの天候となって、ホッとした。Au携帯は、槍のテン場でしか、アンテナが立たず、情報を入力できず、携帯に頼りすぎは良くないと思う。ラジオの天気予報を聞く習慣は重要と思った。

地形：

登山道がしっかりと整備されており、天候にも恵まれた事から、地図を見て地形を読みとる事が必要な場面はなかった。トップの吉田君が間違える事無く、リードしてくれたので、今回は地図を見るのは見えている山の確認ぐらいだった。

記録：

4人で各人が1日づつを分担した。全員、自分の担当日分を快く引き受けてくれて、無事にBパーティ分をまとめる事ができました。今回も楽しい山行、有難うございました。

< 会計報告 >

収入		支出	
会費(4名) (14,300円/人)	57,200円	タクシー代(豊科営業所 七倉ダム) タクシー代(七倉ダム 高瀬ダム) タクシー代(上高地 沢渡) 回送代 車代 駐車場代(沢渡) 風呂代(400円/人) 食料代 テント場代(500円/人*3日) 水代(7L*200円)	13,000円 2,100円 3,500円 6,000円 12,300円 300円 1,600円 10,700円 6,000円 1,400円
	57,200円		57,200円